

急性大動脈解離における術後骨格筋電気刺激療法による  
早期離床のエビデンス構築

1. 研究の対象

2015 年 3 月から 2023 年 3 月までに急性 A 型大動脈解離に対し、緊急手術を受けられた方が対象です。

2. 研究目的・方法

急性大動脈解離 StanfordA 型は命に関わる疾患であり、緊急手術を要することが多いものです。基本的には上行弓部大動脈置換術を行います、その侵襲は大きく、特に高齢の患者さんでは術後に大きく影響する可能性があります。

手術により救命に至っても、その侵襲や疾患の重大さ故に術後の生活の質（ADL）が低下してしまう場合があります。

本研究では上記手術をお受けになった患者さんの術後リハビリテーションを改善することで術後 ADL の維持・向上を図ることを目的としています。

そのために大血管手術ではこれまであまり用いられてこなかった骨格筋電気刺激装置を術後リハビリテーションに組み込むことで今後の成績改善に寄与できないかを検討します。

結果の比較対象として、骨格筋電気刺激装置を導入する前に手術をお受けいただいた患者さんたちのリハビリテーション進行度合いを含めたデータを用いたさせていただき、最適な術後リハビリテーションの模索を行っていきたいと考えています。

研究期間：研究実施許可日～2027 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

疾患名、性別、年齢、体格、既往歴、周術期データ（CT データ、採血データ、手術時間、術中使用デバイス等）、術後遠隔期 CT データ、リハビリテーションの進行状況データ、退院時データ等を用い、解析いたします。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さん、もしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

秋田大学大学院医学系研究科 心臓血管外科学講座 助教 桐生健太郎

〒010-8543 秋田県秋田市広面字蓮沼 44-2

電話番号： 018-884-6135

研究責任者：

秋田大学大学院医学系研究科 心臓血管外科学講座 助教 桐生健太郎

-----以上